

経済文教委員協議会資料
6. 6. 20
教 育 委 員 会

(協議事項)

市立特別支援学校の設置について

1 趣旨

市立特別支援学校の設置に向けた検討について、これまでの経過を報告するとともに、今後の進め方について協議するものです。

2 経過

5. 4. 27 第1回知事と中核市市長との懇話会（以下「懇話会」という。）において、知事が長野・松本の両市長に対して、特別支援学校の設置の検討を依頼。松本市長からは、令和6年度にインクルーシブセンターの設置を予定していることから、特別支援学校の設置と併せて検討したいと回答
6. 20 市議会6月定例会一般質問において、市立特別支援学校の設置について、積極的な検討を行いたい旨を答弁
7. 13 須坂市立須坂小学校に併置されている同市立須坂支援学校を視察
- 28 第2回懇話会において、松本市長から、市北部方面への特別支援学校設置に係る経過及び現状について話題提供
6. 1. 12 第3回懇話会において、特別支援学校の設置については、必要な施設確保と保護者の理解が重要であることを共有
4. 4 松本市インクルーシブセンター開所

3 特別支援教育に係る環境整備の状況

- (1) 近年、発達障がい認知度向上を背景として、特別な教育的ニーズを持つ児童生徒が増えており、特別支援学級の増加及び特別支援学校の狭あい化が課題となっています。
- (2) 市北部方面から県立特別支援学校に通学する保護者からの要望を受けて、これまで地元県議会議員との懇談会等において、県立特別支援学校分教室の設置を要望してきましたが、実現に至っていません。
- (3) 本年4月に施行した松本市発達障がい児等の支援に関する条例において、全てのこどもが共に学び、安心して自立した生活を送ることのできるインクルーシブな共生社会を実現するため、小中学校等においては、教育ニーズに対して最も適切で、連続性のある支援を受けられるよう、多様な学びの場の整備に努めること

としています。

- (4) 須坂市立須坂支援学校のように、通常の学級、特別支援学級及び特別支援学校のそれぞれの子どもたちが行き来できるような、多様性を認め合うインクルーシブな教育環境の整備は、本市教育大綱の重点施策とも重なるものであり、積極的に検討を進めたいと考えています。

4 県等との意見交換

知事と市長との懇話会と並行して、県教育委員会事務局や学校関係者と事務担当者間での意見交換を複数回行っており、望ましい教育環境や教員確保等について助言を受けるとともに、保護者や市民の理解が重要であるとの認識を共有しました。

5 今後の進め方

教育委員会事務局内にプロジェクト会議を設置し、特別支援学校等の保護者や松本市PTA連合会等との意見交換を通して、当事者の意見を取りまとめながら、市立による特別支援学校の設置に向けた課題整理や方向性の検討を行います。